

No.10-23

2010年5月24日
エーザイ株式会社

米国臨床腫瘍学会年次総会で

新規抗がん剤「エリ布林」の局所再発性・転移性乳がんに対する最新の第 III 相試験結果を中心に
エーザイのがん領域の開発品・製品に関する最新試験データを発表

エーザイ株式会社(本社:東京都、社長:内藤晴夫)は、2010年6月4日から8日まで米国シカゴで開催される「第46回米国臨床腫瘍学会(American Society of Clinical Oncology: ASCO)年次総会」において、当社の開発品・製品に関する転移性乳がん、卵巣がん、非小細胞肺癌、転移性脳腫瘍、T細胞性リンパ腫等の最新試験データ15報の発表が受理されたことを公表しました。

特に注目すべきは、新規抗がん剤「エリ布林(一般名)」についてグローバルで実施された第 III 相試験(EMBRACE 試験: Eisai Metastatic Breast Cancer Study Assessing Physician's Choice Versus E7389)に関する最新試験データの口頭発表です。本試験は、少なくとも2種類のがん化学療法(アントラサイクリンおよびタキサン系抗がん剤を含む)による前治療歴のある局所再発性・転移性乳がんの患者様を対象に、エリ布林投与群と治験医師選択療法施行群の2群に分けて実施された、多施設、無作為化、非盲検、並行2群間比較試験です。

当社は、かねてよりがん関連領域を重要なフランチャイズ領域と位置づけて、重点的に資源配分をしてきました。今回のASCOでの発表は、当社のがん関連領域における開発品・製品のポートフォリオ戦略、および近年の前臨床・臨床での研究成果の集大成となります。

当社は、患者様とご家族のベネフィット向上に貢献するというヒューマン・ヘルス・ケア(hhc)理念に基づき、がん関連領域においてグローバルな研究開発、生産に積極的に取り組むことで、がん患者様とご家族、さらには医療従事者の多様なニーズの充足とベネフィット向上に、より一層貢献してまいります。

ASCO 年次総会で採択された当社開発品・製品に関連する発表は以下の15報です。

化合物・製品	抄録の内容	発表日時・場所
エリ布林(E7389) 抄録番号:CRA1004	アントラサイクリン・タキサン系抗がん剤治療歴を有する局所再発性・転移性乳がん患者を対象とする治験医師選択療法と比較したエリ布林第 III 相試験(EMBRACE 試験) 口頭発表	2010年6月8日 9:30AM ~ 12:30PM 会場:Eホール D1
エリ布林(E7389) 抄録番号:1081	日本人の進行性乳がん患者におけるエリ布林の有効性と安全性 ポスター発表	2010年6月5日 2:00PM ~ 6:00PM 会場:Sホール A2

(次ページに続く)

化合物・製品	抄録の内容	発表日時・場所
エリブリン (E7389) 抄録番号: 2589	進行性固形がん患者におけるエリブリンと carboplatin 併用療法第 I B 相試験 ポスター発表	2010年6月7日 8:00AM ~ 12:00 PM 会場: S ホール A2
エリブリン (E7389) 抄録番号: 2582	肝障害患者におけるエリブリンの薬物動態 ポスター発表	2010年6月7日 8:00AM ~ 12:00 PM 会場: S ホール A2
Farletuzumab (MORAb-003) 抄録番号: 5001	葉酸受容体に対するヒト化抗体、farletuzumab (MORAb-003) のプラチナ感受性、再発性卵巣がん患者に対する有効性と安全性: 多施設第 II 相試験最終データ 口頭発表	2010年6月7日 9:45 AM ~ 11:15 AM 会場: E アリエ クラウンシアター
Farletuzumab (MORAb-003) 抄録番号: TPS 255	プラチナ抵抗性又は難治性、再発性卵巣がん患者における paclitaxel 週1回併用、farletuzumab (MORAb-003) の有効性と安全性に関する無作為、二重盲検、偽薬対照第 II 相試験 ポスター発表	2010年6月7日 8:00 AM ~ 12:00 PM 会場: S ホール A2
E7820 抄録番号: 3537	転移性・難治性大腸がん患者における E7820 と cetuximab 併用療法第 II 相試験 ポスター発表	2010年6月6日 2:00 PM ~ 6:00 PM 会場: S ホール A2
Ontak® (denileukin diftitox) 抄録番号: 8045	末梢性 T 細胞リンパ腫と診断された患者における CHOP 化学療法併用、denileukin diftitox 第 II 相試験 (CONCEPT 試験) ポスター発表・討論	2010年6月4日 5:00 PM ~ 6:00 PM 会場: E354b
E7080 抄録番号: 2540	選択的チロシンキナーゼ阻害剤 E7080 の固形がん患者に対する経口投与用量増加第 I 相試験 ポスター発表	2010年6月7日 8:00 AM ~ 12:00 PM 会場: S ホール A2
E6201 抄録番号: 2505	MEK - 1 阻害剤 E6201 の進行性固形がんを対象とした用量増加第 I 相試験 口頭発表	2010年6月6日 8:00 AM ~ 9:30 AM 会場: E354a
Gliadel® Wafer 抄録番号: 2066	1 ~ 3 個の脳転移患者における局所管理と認知機能に対する外科手術プラス生体分解性 carmustine wafers に関する研究: 予備的結果 ポスター発表	2010年6月6日 8:00 AM ~ 12:00 PM 会場: S ホール A2
Dacogen® (decitabin) 抄録番号: 6600	中または高リスク骨髄異形成症候群治療における維持療法と decitabin の経済分析 ポスター発表	2010年6月5日 8:00 AM ~ 12:00 PM 会場: S ホール A2
Dacogen® (decitabin) 抄録番号: 6601	骨髄異形成症候群に対する低メチル化剤治療の血液学的転帰 ポスター発表	2010年6月5日 8:00 AM ~ 12:00 PM 会場: S ホール A2
Fragmin® (dalteparin Na) 抄録番号: 9115	warfarin と比較したがん患者静脈血栓症再発防止における dalteparin 有効性評価 ポスター発表	2010年6月7日 1:00 PM ~ 5:00 PM 会場: S ホール A2
Aloxi® (palonosetron HCl) 抄録番号: 9127	化学療法誘発悪心・嘔吐入院と救急外来: Palonosetron と 5-HT ₃ -RA 制吐剤処方 ポスター発表	2010年6月7日 1:00 PM ~ 5:00 PM 会場: S ホール A2

以上